

日本洋書協会会報

BULLETIN OF JAPAN ASSOCIATION
OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

目次

- 理事長からのメッセージ／理事会報告 1
- 新年賀詞交換会／委員会報告 2
- 楽譜のオハナシ⑨ 3

理事長からのメッセージ

厳寒の候 会員の皆様には変わりなく元気でご活躍されていることと存じます。

昨年11月1日付の理事長メッセージで報告の通り、当協会の第三四半期にあたるこの時期、海外の電子商品に関わる消費税の不課税問題が大きくクローズアップされ、国税庁に対し事前照会を行い多くの時間を費やしました。

この件に関する国税庁の回答は、国税当局として直接の判断を示したものではありませんが、当協会が照会した内容はいわば「自明の理」であること、つまり、海外の電子商品等の使用料金については不課税であることを間接的に肯定するものでした。この結果を踏まえ12月7日、JAIP会員に向けて説明会を行いました。多数の会員に出席頂きこの問題に対する関心の深さが伺えた次第です。当協会が事前照会をするに当たって国税局に示した事実関係、参考として提出した関係資料、取引形態、更に不課税対応するに当たっての関係法令等の引用・解釈等は協会の会員に共通する一般的なものであり、全ての会員の事業活動に密にあてはまるものではないことをご理解ください。不課税対応を行おうとする場合は予め所轄税務署等に相談されることをお勧めします。

不課税対応は、会員の皆様にとって、また、お客様にとって大変関心が高くかつ重要な問題です。今後も総務委員会を中心

に対応し、勉強会等を開催したいと考えております。

理事会をはじめ各委員会の役割と活動内容を見直し時代の趨勢にマッチした仕組み活動内容の見直しと、より多くの方々に、特に次世代を担う若い方々にメンバーに加わって頂きたいと考えております。理事長として、若い世代の斬新な意見を取り入れ協会の活性化と更なる発展を目指し注力を注いでおります。

今後当業界を取り巻く環境が著しく変化することが容易に予測されます。具体的には極端な円高、国際貿易収支の赤字、インターネット環境の急激な発展による既存の商取引市場の縮小化など、問題が山積しております。近い将来の消費税増税を控え公平な課税のもとで事業に対応できる環境づくりを目指す等、会員の皆様方のお知恵をお借りし協会活動の正しい方向付けを一步一步進めてゆきたいと願っております。

会員各位におかれましては、これらの困難な事態を克服するため、協会活動にお力添えを頂きたく切にお願いする次第でございます。

以上

日本洋書協会

理事長 山川 隆司

理事会

2012年2月14日(水)

1. 予算推移報告が事務局からあった。今年度は創立70周年記念行事の特別会計取り崩しがあったため、一般会計への繰入の説明があった。一般会計の範囲では予算通りに推移している。
2. 総務委員会の報告(長谷川委員長)
桜内文城(サクラウチフミキ・参議院議員(みんなの党)元財務省官僚)氏と面談を行って消費税関連の質問を提出した。一部回答が来たが一般論の域なので、再度事例を含め説明・質問する。
総会は5月18日(金)にプレスクラブで行う。来年度予算策定のための来期活動計画を各委員長依頼する。またダイレクトリー2012の編集に着手する。各理事には来期の財源拡大のために自社は勿論、取引先の広告の獲得をお願い

した。

一部編成に変更のあった委員会構成が図式され提示された。

日本出版インフラセンターから要請のあった図書電子化の有識者委員会への参加は理事長に一任した。委員会での情報は会員に公開する。

理事長公選については様々な意見があるので、理事会・総務委員会合同で再度論議する。また協会の方向性については会員へのアンケートも検討する。(理事長)

3. その他

重要事項の決定は「持ち回り」にせず、実際の理事会で討議した方が良いとの意見がグresham理事から出された。現在2社が入会検討中で事務局が説明を行っている。

新年賀詞交換会

2012年1月6日(金) 今年の新年賀詞交換会は毎年恒例の日本外国特派員協会(プレスクラブ 有楽町)のパーティー会場にて43社121名のご参加で盛大に行われました。

司会による開会宣言のあと協会理事長・ユサコ株式会社の山川氏より新年のご挨拶をいただきました。また各理事の方々のご紹介もいただきました。次に昨年開催された協会創立70周年記念式典実行委員の方々(ユサコ長谷川氏をはじめとする総務委員の皆様)に舞台近くに集まっていた式典が無事行われたことに対し感謝の意を込めてお集まりの皆さんから盛大な拍手が贈られました。続いて株式会社雄松堂書店の新田氏よりご挨拶のあと乾杯のご発声をいただきパーティーが始まりました。

会場内は今年もたくさんの料理とお酒を楽しみながら皆さんいろいろな方との会話に時間は過ぎて行きました。

中ほどに定期的に企画している「女性経営者の会」のパーティーについてファイドン株式会社の青木様よりご紹介



いただきました。今回は「雛祭りの会」として3月2日(金)に皆様を対象に行われる予定ですので是非ご参加下さいませ。楽しい時間はあっという間に過ぎ、中締めのご挨拶を丸善株式会社讃井氏にいただき閉会となりました。

今年も多数の方々にご参加いただき、また大勢の方に大変貴重なスピーチをいただきありがとうございました。今年も皆様にとって素晴らしい一年であることを願っております。(S・T記)

委員会報告<レクリエーション委員会>

第14回 JAIP ボウリング大会

2011年12月6日(火)

会場: ロサボウル(池袋)

参加者: 16名(7社) 男性13名 女性3名

競技: 2Gのトータルピン(ハンディキャップあり: 平均150として算出)

上位の成績は下記の通り

順位	氏名(社名)	総得点	1G	2G	AVG	HDGP/G
優勝	門脇武夫(雄松堂書店)	359	175	184	179.5	0
2位	小向奈保子(絵本の家)	357	160	115	137.5	41
3位	野本 晃(日本出版貿易)	326	100	140	120.0	43
4位	平野 覚(ユサコ)	323	177	160	168.5	-7
4位	松本 恵(ユサコ)	323	120	97	108.5	53
6位	広瀬敏昭(大洋交易)	322	109	151	130.0	31
7位	ダーレン・ハリデー(マクミランランゲージハウス)	310	161	145	153.0	2
8位	安藤千夏(ユサコ)	301	85	96	90.5	60
9位	寺尾雅人(日本出版貿易)	300	151	143	147.0	3
10位	山中玄致(ユサコ)	299	190	115	152.5	-3



ハイスコア男性/G 山中玄致(ユサコ) 190

ハイスコア女性/G 小向奈保子(絵本の家) 160

【優勝者のコメント】

久しぶりのボーリングだったのですが、皆様のアットホームな雰囲気にもまれ、適度な緊張感の中で楽しく投球することができ、優勝することができました。スコアはどう見てもできすぎですが次回も是非参加して運動不足の一助にしたいと思います。懇親会もとても楽しくおいしくいただきました。いろいろお気遣いをいただきありがとうございました。次回もよろしく願いいたします。(雄松堂書店 門脇武夫)

誰が一本の線を入れたの？

ド、レ、ミ、ファ…を始めたのは？

アカデミア・ミュージック(株) 平岩 寧

五世紀から十世紀にかけてキリスト教の典礼は整備されていきますが、その具体的な流れについての物証は残されていないようです。聖歌についても同様で九世紀ごろまでは記録が少なく、研究を困難にしているようです。この時代地中海の周辺地域ではキリスト教のローマ教会、ビザンツ教会（ギリシャ正教）、ユダヤ教会がそれぞれ独自の典礼のすすめかたと聖歌歌唱、歌詞の言語で執り行っていたのでしょう。キリスト教に関係する聖歌の記録としてパピルスに古代ギリシャの記譜法によって書かれた楽譜（注1）が、ただ一つだけ存在しています。

教皇グレゴリウス一世が教会の改革に手を付けてから二百年ほど過ぎてフランク王国のカルル大帝がローマ帝国皇帝戴冠をします。カルル大帝はそのローマ教会を保護し援助します、ローマ教皇と密接な関係が保持され、ローマ教会の典礼方式や聖歌をフランク王国に取り入れローマ教会も各地で独自に行われている典礼を統一しようとした、楽譜については九世紀以前の楽譜は非常に少なく現在残っている楽譜の多くは九世紀から十一世紀にかけて書かれたものが多く、フランク王国にかかわる地方で発見されています。楽譜は『ネウマ譜』と言われるもので聖歌の歌詞の上に記号『ネウマ』が記入されていて、音高だけではなく細かい音の動きを表現しています。

『ネウマ』と言うのはギリシャ語が起源で物が動くことを意味していて聖歌歌唱の際に指揮者が手で合図を送るのに似ていることに由来すると言われています。

ネウマは色々な形をしています、ネウマが使われるようになった時代はフランク王国の時代でおおよそ八世紀ごろからで広い地域で北はイングランドから南はイタリア、スペインまでの広い地域にまたがって使われ、非常に多くの形をしています（注2）。『ネウマ記譜法』を説明するだけで新グローヴ音楽辞典では三十ページ近くを使って述べていますし、多くの研究成果が発表され出版されています。音楽史の上で中世とルネッサンスの年代区分については

様々な意見があるようです。

世界の中で政治等、色々なことが起こっていたとしても楽譜の世界では十一世紀頃までネウマ記譜で書かれた楽譜で教会の典礼がすすめられ、聖歌が歌唱されています。しかし1020年頃イタリア中部にある古都アレツォの修道士で聖歌歌唱の指導者でもあるグイド [Guido d' Arezzo (ca991-ca1050)] がネウマ譜に一本の線を入れること考え実行し、次はその線を増やして色をつけました、Fの音は赤い色の線、Cの音は黄色線を使いました。色のインクが無い場合、誰かが線の左端に「音高」を規定した文字を書き込むことを始めます。この文字を今流でいえばデフォルメして出来たのが音部記号です。グイドは他にも『グイドの手』と言われる音楽指導法を考え出し、さらにもう一つ、何かと言へば皆さんもよくご存じの「ドはドーナツのド、レはレモンのレ…」のド、レ、ミ、ファ…唱法を考えました、グイドはバプティマスの聖ヨハネの誕生日を祝うヴェスプレ晩課タベの祈りの賛歌（注3）を元に行っていると言われています。

注1：エジプトのオクシリンコス（カイロの南西160km）で発見されたもので三世紀のギリシャ語聖歌で内容はキリスト教の根本の教義について書かれています。

注2：『ネウマ』の形は種類が多いため全部を載せるわけにはいきませんので、少しだけ書き写しました。

	ヴィルグ	ペス	クリヴィス	トルクルス
四角ネウマ				
ドイツ				
イングランド				
フランス				

注3：ヨハネ賛歌の歌詞：

Ut queant **laxi** **resoare** fibris **Mira** gestorum
famuli tuorum **Solva** Polluti
labii reatum **Sancte** Iohannes

CAMBRIDGE

ケンブリッジ・ハンドブック：言語と言語学 全3巻パック

Cambridge Handbooks in Language and Linguistics 3 Volume Pack

Edited by Rajend Mesthrie, Keith Allan, Kasia M. Jaszczolt and Bernard Spolsky

February 2012 1980 pages Hardback 978-1-107-02036-8 US\$350.00

Genuinely broad in scope, each handbook in this series provides a complete state-of-the-field overview of a major sub-discipline within language study and research. This 3 volume set brings together handbooks in Sociolinguistics, Pragmatics and Language Policy and will be a valuable addition to any Linguistics library.

Contents

The Cambridge Handbook of Pragmatics

Part I. Problems and Theories

Part II. Phenomena and Applications

Part III. Interfaces and the Delimitation of Pragmatics

The Cambridge Handbook of Sociolinguistics

Part I. Foundations of Sociolinguistics

Part II. Interaction, Style and Discourse

Part III. Social and Regional Dialectology

Part IV. Multilingualism and Language Contact

Part V. Applied Sociolinguistics

The Cambridge Handbook of Language Policy

Part I. Definition and Principles

Part II. Language Policy at the Macrolevel

Part III. Non-Governmental Domains

Part IV. Globalization and Modernization

Part V. Regional and Thematic Issues

個別の巻でもお求めいただけます。

The Cambridge Handbook of Pragmatics 好評発売中！

Edited by Keith Allan, *Monash University, Victoria* and Kasia M. Jaszczolt, *University of Cambridge*

2012 786pages Hardback 978-0-521-19207-1 US\$160.00

The Cambridge Handbook of Sociolinguistics 好評発売中！

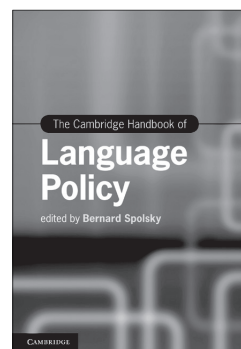
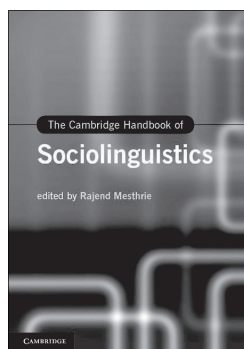
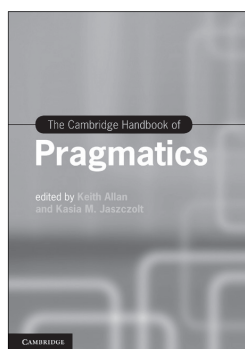
Edited by Rajend Mesthrie, *University of Cape Town*

2011 544 pages Hardback 978-0-521-89707-5 US\$150.00

The Cambridge Handbook of Language Policy

Edited by Bernard Spolsky, *Bar-Ilan University, Israel*

February 2012 650 pages Hardback 978-0-521-19565-2 US\$170.00



A Cambridge University Press company

United Publishers Services Limited
A Cambridge University Press company

1-32-5 Higashi-shinagawa, Shinagawa-ku, Tokyo 140-0002 JAPAN

〒140-0002 東京都品川区東品川 1-32-5

Phone (03)5479-7251 Fax (03)5479-7282

日本洋書協会会報 vol.46 No.2(通算515号) 発行日2012年3月1日 編集者 正田 実

発行所 日本洋書協会 〒140-0002 東京都品川区東品川1-32-5 U.P.S. 内 TEL 03-5479-7269 FAX 03-5479-7307

URL: <http://www.jaip.jp> E-mail: office@jaip.jp